


地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県、笛吹市、甲州市	地域再生計画名	甲斐の国峡東地域再生計画
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、道路整備課長、笛吹市 土木課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	交流人口の増加	5,430千人	H26	5,684千人	H29	5,415千人	5,919千人	R1	5,423千人	×	3	2	市道整備と林道整備を推進しているものの、峡東地域内の交流人口はその他の要因に影響があり減っており、最終目標に達していないことから、次期計画の検討課題として取り組む必要がある。
	指標2	観光周遊ルートの総所要時間	99分	H26	97分	H29	96分	95分	R1	92分	○	3	2	目標を上回る成果があり、所要時間のより一層の短縮が実現した。
	指標3	効率的な林業経営が可能となる人工林面積の増加	788ha	H26	904ha	H29	985ha	981ha	R1	1,094ha	○	3	2	目標を1割以上上回る成果が上がり、人工林施策の効率化が大幅に向上した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		0.60km	0.35km	0.54km	・笛吹市道の整備については、関係機関との協議により不測の期間を要したが、現在は工事にも着手している。用地買収もほぼ完了していることから、引続き残り工区の事業進捗を図り、早期完成を目指す。								
	林道整備事業（整備延長）		9.83km	3.19km	5.20km	・林道の開設延長は計画どおりだったものの、改良等事業に未達成があり計画値には至らなかった。残事業については、引き続き実施し峡東地域の再生に寄与する。								
その他の事業	森林環境保全整備事業（林道）		面的にまとめて計画的に行う搬出間伐等の森林施策と、これと一体となった林業専用道の開設を行う			・林業専用道の開設を計画どおりに進めたことにより、林業経営の効率化の推進に大きく寄与した。								
	観光地の魅力向上（笛吹市）		鶴岡や夏祭り、ハウス桃花見などの観光イベントや、自転車ロードレース大会やコスモス街道、ワインリゾートなどの広域誘客事業を広く宣伝することで、観光PRを促進し、観光客の増加を図る。			・中央自動車道笛吹八代スマートインターチェンジの開通により観光客の増加が見込まれる地域であり、今後山梨新環状道路開通後は新環状道路と笛吹八代スマートインターチェンジを結ぶ主要道路となることから、市内の観光スポットへのアクセスの向上のため、早急に完成する必要がある。								
	公共事業の連携強化（笛吹市）		市地域公共交通総合連携計画を策定し、デマンド交通を運行する。これにより、市街地や病院、鉄道駅や路線バス停との連携を強化することで地域の活性化を図る			・中央自動車道や県内の幹線道路を結ぶ主要道路に位置づけられる。また、完成後はデマンド交通の運行による市街地や病院、公共施設へのアクセスの向上が期待されるので、早急の完成が望まれる。								
計画外で独自に実施した事業	県単林道事業（林道）		山岳観光のアクセス道として利用の高い林道や沿線住民の生活用道路である林道を改良し、山村地域の振興と定住環境の改善を図る。			・林道の改良や安全施設の整備を計画どおりに実施したことで、沿線住民の通行の安全確保と、山村地域振興の活性化が図られた。								
④評価方法	地域再生計画評価会議を立上げ、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	山梨県のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域再生計画では、市道、林道を一体的に整備することにより効率的な道路ネットワークを構築し、地域内交流人口の増加を図り、地域全体の活性化を目指す計画である。これまでに市道と林道の整備を推進しているものの交流人口は基準年に対して微減となったが、今後は、H29.3に供用を開始した笛吹八代S1Cを起点とし、域内観光地の魅力向上・公共事業の連携強化等を引き続き進めることにより、観光客の増加を見込む。 ・市道・農道等の一部供用開始や県単林道事業の実施により、観光周遊ルートの所要時間が短縮し、観光客の利便性の向上が図られた。 ・効率的な林業経営が可能となる人工林面積の増加については、目標を大きく上回る成果が上がったことから、林業の成長産業化に向け人工林施策の大幅な効率化が図られた。 													
⑦今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・市道整備については、用地買収もほぼ完了し、関係機関との協議も済んでいることから、残りの工事を早期に完成させ、早期効果発現を目指す。 ・笛吹八代インターチェンジを利用した観光客の増加に備え、観光地間のアクセス改善のため市道整備、林道整備を一体的に進める。一方、森林環境保全整備事業等のその他事業についても、引続き実施することにより総合的に地域の魅力向上に努める。 													

地域再生計画 事後評価参考資料

都道府県名	山梨県	地域再生計画の名称	甲斐の国峡東地域再生計画			
施行主体	山梨県、笛吹市、甲州市	計画期間	平成27年度～令和元年度			
地域再生計画の概要	<p>人口減少、高齢化が進行する山梨県峡東地域では、国師ヶ岳、甲武信ヶ岳、西沢渓谷等の豊かな観光資源と桃、ぶどう等の農業生産に代表される豊富な資源に恵まれているものの、地域の道のネットワークの構築が十分でないことから、観光客の伸び悩みが課題となっている。このような状況を改善するため、市道及び林道を一体的に整備し、あわせてハウス花見、鶺鴒などの観光イベント、公共交通機関の連携に取り組むことにより、観光地間のアクセスを向上させ、林業生産向上及びさらなる交流人口の増につなげて地域の活性化を図る。</p>					
地域再生を図るために 行う事業	<p>北部地域においては、観光地としての周遊ルートを確認するため、北部山岳ルートであるクリスタルラインの一部をなす「林道塩平徳和線」の開設、「林道乾徳山線」の改良事業を進め、早期の完成を図る。 また、中南部においては、来訪観光客の安全・安心を確保するため、平成29年3月供用の笛吹八代スマートインターチェンジへのアクセス道路となる「笛吹市道1-13号線」等を早期に整備する。 これらにより、峡東エリア全体として市道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。 加えて、森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、全体的に地域に潤いがもたらされる。</p>					
主な計画道路の 整備状況写真	林道 塩平徳和線 (着工前)	(H31末時点)	林道 乾徳山線 (着工前)	(H31末時点)		
						
主な計画道路の 整備状況写真	笛吹市道 1-13号線 (着工前)	(H31末時点)				
						